



会報 第47号 平成30年

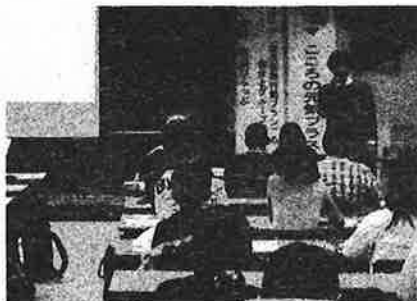
島根県精神当事者連絡会

作品宛先 699-0552 出雲市斐川町中洲391-2
コーポグリーンライフ12号 畑貴純
連絡先 694-0041 大田市長久町長久453-10
コーポ亀の子II102号 佐貫武之

「えにし」出会いの会の様子



会場の様子



講師のお話



グループワーク



グループワーク

「えにし」出会いの会の準備について

畑貴純

今回の「えにし」出会いの会の準備は、他のイベントと比べ倍の時間(約7カ月)かかり、大変な思いをしました。

企画については2回の変更があり、チラシの作成も、それに伴い長時間を要しました。

開催時期も、準備の遅れで9月実施予定を変更して、や

っと11月23日に間に合いました。

今回は、地域啓蒙イベントということで、広報に力をそそぎ、普段行うチラシ配布、会報によるお知らせやホームページ掲載だけでなく、チラシの新聞折り込み、NHKのテロップ放送、市報への掲載、ケーブルでの告知といった多くの方法をとりました。

私自身の体調管理も、プレッシャーにより、うまくコントロールできなくなり、ゲストや県の障がい福祉課の方にもご迷惑をかけてしまいました。

また後援団体となっていた島根県精神保健福祉士の皆様にも、最後まで応援していただき感謝しています。

今回のイベントの実施については、最後までやりとげる大変さと大切さを痛感し、今後その経験を生かしていきたいと思っています。

母と共に

浜田訓臣

母親は脳内出血で倒れ、体が不自由です。この前こういうことがありました。

玄関で母親のサンダルをそろえていると「いつも、ごめんな。」と言うので「それは、ボクの言う事だよ。」「そんな体になったのは、ボクのせいだよ。」「一生かけて、つぐなうから。」と言いました。

そして二人で、ちょっぴり泣いて、ちょっぴり笑いました。

第49回島根県精神保健福祉大会



リーフレットの配布と
シルバーリボンの販売をしました

県精神保健福祉大会に参加して

山崎信雄

平成29年11月7日(火)、雲南市チェリヴァホールで島根県精神保健福祉大会があった。

最初は会長あいさつ、個人・団体表彰があった。

記念講演で樹木医の塚本このみさんが、フラワーパークの話と、ひきこもり支援の話がされた。塚本さんが藤の大木を4本移植された話や収容のできる花の植え方や、花の他にも芝生も植えた方がいいことや、ひきこもり支援をするために、教室を開く話がされた。

塚本さんが、樹木医の国家試験を受けた時、女性は塚本さん一人だった。

樹木の研究に熱心な受験者のみなさんの話を聞いて、世の中には、スゴイ人たちが多いと思い、更なる勉強が必要と感じたと話された。

塚本さんがフラワーパークで、ひきこもりの人を雇って社会復帰をされる試みをしていた。社会貢献のために、ひきこもり支援をする塚本さんの志をよいことだと思う。一般の企業が福祉の仕事をするのを、自治体や国が政策に入れていないのは心がせまい話だと思う。

塚本さんは、うつやひきこもりの方に、手当が必要だと考えておられるようです。福祉だけにまかせておけないと思われるようでした。

第8回しまねこころの交流会

日時 平成30年1月21日(日)

13:00~15:30

場所 大田市あすてらす3F研修室

テーマ 「夢を語ろう」

内容 ・体験発表

「私の15年」原田智美

「僕の体力」佐貫武之

・グループワーク

成